| | | | |
|---|---|---|---|
| | | を目指す。<br><br>（設備の先端性を追加的な要件として設けた場合）<br>なお、供給量の継続的な確保のため、この取組において導入する設備については、既存の設備の単なる置き換えではなく、○○（メーカー名）の最新のカタログに掲載されている設備であり、既存の設備と比較して、～～～～～（性能面等で優れている点を記載）の点において優れており、○○（品目名）の生産量の増加を見込むことができる。 | |
| ② | | （例）<br>当該技術を実装したクラウドサービスにおいて、20XX 年時点で、国内売上額○億円を目指す。 | （例）<br>自社のクラウドサービスの競争力強化により国内市場におけるシェアを拡大していくため、○○の技術について、20XX 年Ｘ月より○人規模で技術開発を開始し、20XX 年Ｘ月までに技術を確立する。その後、20XX 年までに当該技術を自社のクラウドサービスに実装し、当該クラウドサービスにおける売上額の拡大を目指す。 |
| ③ | | （例）<br>当該電子計算機を活用したクラウドサービスにおいて、クラウドサービス提供開始時から20XX年○月までで、利用者○人を目指す。 | （例）<br>高度な電子計算機を活用したクラウドサービスに関する基盤クラウドプログラムの開発を図っていくため、20XX 年○月、○○（立地場所）に新たな○○（品目名）を整備する。そのうえで、当該電子計算機の計算能力を、20XX 年○月までにクラウドサービスとして提供し、基盤クラウドプログラムの開発促進を図っていく。 |

（注１）複数の異なる種類の取組を一貫して実施する場合は、取組種類欄に複数の取組種類を記載することとして差し支えない。その際、記載内容がいずれの取組種類に該当するものか分かるように記載すること。

（注２）１つの取組により２以上の品目の安定供給確保を図る場合は、品目ごとに目標数値を記載すること。

（注３）具体的な計画内容の記載に当たっては、事業開始年度及び事業終了年度並びに取組により直接的に達成が見込まれる定量的な中間目標等を設定している場合はその内容も併せて記載すること。

（注４）当該取組を実施する上で、これまでの原材料等又は役務に必要な物資の調達方法を変更し、新たな調達に関する計画・取組を行う場合は、当該計画・取組を併せて記載すること。

（注５）当該計画を認定した場合は、当該表の記載内容について安定供給確保支援法人又は安定供給確保支援独立行政法人に通知する。

（４）目標数値設定の根拠（数値算出の計算式や考え方、それに用いた根拠となる数値やファクトを、当該物資の市場の見通し及び世界情勢等の背景を踏まえて記載）

| |
|---|
| （目標数値設定の根拠）<br>特定重要物資又はその生産に必要な原材料等の品目①： |

（注）２以上の品目の安定供給確保を図ろうとする場合には、上欄を追加してそれぞれの取組ごとに記載すること。